



8/29 (日) みんなで勝ちとった準優勝!

身体に障がいのある方が大会に参加し、体力の維持、増強、機能回復を図るとともに、自らの新たな可能性を発見し、社会参加の促進に寄与することを目的として「第46回沖縄県身体障害者スポーツ大会」が県総合運動公園陸上競技場などで行われました。浦添市からは29人の選手が参加し、トラック競技、ソフトボール投げなどの陸上競技や卓球、水泳などの競技に出場しました。記録更新を目指す選手、昨年とは異なる競技に挑戦した選手などそれぞれが日々の厳しい練習の成果を発揮し、浦添チームは昨年に引き続き団体の部で準優勝という素晴らしい成績を収めました。



8/29 (日) しまくとぅば大会やいびーん!

近年、沖縄語(しまくとぅば)を話す人たちが減り、聞くことができない世代が増えていることから、祖先が残した文化を将来に継承、発展させようと、「第4回浦添市語やびらしまくとぅば大会」が市中央公民館で開催されました。大会では、市内の保育園児、小学生が自己紹介や将来の希望をしまくとぅばで語ったほか、宮城小学校1年生による方言版「桃太郎」の上演がありました。浦添の地名を読んだ「浦添口説」が口頭伝承者の宮里トヨさんと沢岬小学校の子ども達により紹介され、会場は温かい拍手に包まれました。



8/18~8/20 (水) (金) 浦添の地場産品を再発見!

浦添市の地場産品を展示、販売することで、広く市民に紹介し、地場産業の育成と活性化に寄与しようと、「浦添の物産と観光展」が市役所1階ロビーおよび中庭で開催され、多くの来場者でにぎわいました。

この行事は毎年恒例となっていて、今回は展示、販売店合わせて40社の出展がありました。市長は「事業者の皆さんは自社の知名度アップにつなげて欲しい。来場者には浦添の観光資源の再認識・再発見をして欲しい」と、挨拶しました。来場者からは「初めて来たが、こんなに地場産品があるとは驚いた」などの声がありました。



浦添中陸上チーム

9/1 (水) 陸上、ハンドボール 全国で大活躍

8月に行われた陸上競技およびハンドボール大会で優秀な成績をおさめた次の生徒達の市長表敬がありました。

- 浦添中陸上チーム
全国中学校体育大会第37回陸上競技選手権大会
400m男子リレー優勝(8/23)
西平伊智郎、知念佑哉、真栄田将弥、与那原良貴(出走順)
※県中学新記録で優勝。トラック種目では初の全国制覇。
- 本村未姫(港川小)
・第26回全国小学生陸上交流大会女子ソフトボール投げ優勝(8/28)



本村未姫さん



仲西中女子ハンドボール部

- 仲西中女子ハンドボール部
第39回九州中学校ハンドボール競技大会
準優勝(8/8)

市長は、「皆さんは、浦添市民だけでなく県民の誇りです。これからもスポーツに勉強に遊びに精一杯取り組んでください」と、激励しました。



沖縄初の外交官 波乱に満ちた生涯

7月9日から全6回にわたり、てだこ市民大学特別講座「沖縄初の外交官 田場盛義の生涯」(講師:沖縄大学客員教授 又吉盛清氏)が開催され、外交官として激動の時代に中国で活躍した浦添市当山出身の田場氏(1894~1937年)の生涯とその功績が紹介されました。最終回の8月15日には、「田場と浦添の人物を知る一現地を訪ねる」と題し、生家跡や墓所、顕彰碑などを巡りました。

受講者からは「田場氏のような方が、同じウラシムンチュであることがとても誇りに思う。自分は歴史が好きで、この講座を通じて学んだことを友人にも広めていきたい」と、感想がありました。



8/15 (日) 消防活動の大切さを学びました!

消防行政への理解と防災に関する意識高揚を図るため、「第3回てだこキッズ・ファイヤーフェスタ」が市消防本部で行われました。

参加した市内の小学生とその保護者約200名は、救急法講習、救助訓練、消火訓練などの消防活動やはしご車などの試乗を体験しました。

西原消防長は「募集人員を大幅に超える応募があり、市民の消防への関心の高さに感激しました」と挨拶しました。また市では年間約40件の火災発生や年間約4,200件(1日あたり約11件)の救急隊の出動要請があるとの報告もあり、火災予防と救急車の適切な利用に理解を求めました。